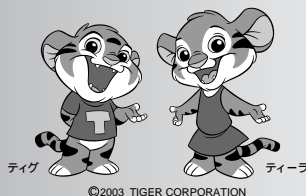
品番 ③
PVG-H型

家庭用

VE浄水電気まほうびん〈とく子さん®〉

取扱説明書 保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

便利な機能

設定した量だけ給湯できる
計量カップ機能 P.14・15

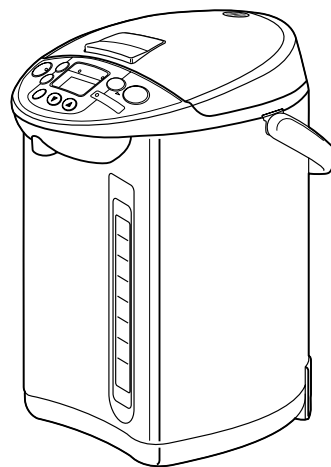
お湯の保温温度が選べる
保温選択 P.16
98保温、90保温、まほうびん保温が選べます。

湯わかし時間を延長し、おいしいお湯がわかせる
カルキぬき P.19

生活に合わせて自動OFF!
とく子さんコース P.20~22

必要な時間にお湯がわく
節電タイマー P.23

調理時間が計れる
キッチンタイマー P.24

日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません）

もくじ

給湯時のお願い
沸とう直後に給湯を行うとお湯が出にくくなることがあります。その場合は、蒸気に注意して、一度ふたを開けていただくと直ります。

基本的な使いかたの流れ

■はじめてお使いになるときや、しばらく保管されていたとき
一度お湯をわかして内容器とお湯の流れる部分を洗浄してください。

水を入れてプラグを接続すると、湯わかしがはじまります。

沸とうすると、自動的に90保温されます。
※保温温度は3種類から選択できます。

給湯 キーを押すと、お湯が出ます。
※液晶表示部には給湯量が表示されます。

再沸とう キーを押すと、お湯をわかします。
※保温温度を変更すると、湯温によって自動的に再沸とうします。

湯量が約1L以下になると、そろそろ給水ランプが点灯してお知らせしますので、給水してください。

もっと上手に使いましょう

省エネ その1 保温温度の選択 P.16参照

お湯の保温温度を「98保温」「90保温」「まほうびん保温」の3種類から選べます。

98保温よりも電気代を節約

●90保温
98保温よりも電気代が節約できます。
約90℃のお湯は、煎茶などを入れるときにも便利です。

●まほうびん保温
沸とう後、ヒーターへの通電を切り、まほうびん構造によってお湯を保温しますので、電気代が節約できます。

節電タイマー P.23参照

お休みになるときや外出前など、使わないときにセットすると、電気代を節約できます。

生活に合わせて自動OFF!

とく子さんコース P.20~22参照

ポットの使用状況に合わせて自動的に通電をコントロールしますので、決まった時間帯にお湯を使われる方に便利です。

お湯を「使わない時間帯」には、ヒーターへの通電を自動オフしてまほうびん保温に切り替わり、「使う時間帯」だけお湯をわかして保温しますので、効果的に電気代を節約できます。

AM6:00~AM8:00

PM2:00~PM3:00

PM7:00~PM9:00

便利な機能

計量カップ機能 P.14·15参照

あらかじめ設定した必要な量だけ給湯できます。お料理を作るときなどに便利です。

そろそろ給水 P.17参照

お湯を使いたいときに、湯量が少なくて困ることのないよう、お湯の量が約1L以下になると、そろそろ給水ランプが点灯してお知らせします。

カルキぬき P.19参照

湯わかし時間を延長し、おいしいお湯がわかせます。

クエン酸洗浄 P.26参照

内容器の落ちにくい汚れを洗浄できます。

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

 この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

（分解禁止）

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

（強制・指示）

（差し込みプラグを抜く）

乳幼児のいらっしゃるご家庭でご使用の場合は特にご注意ください。

⚠警告

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。

器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないように注意すること。
感電やけがの原因。

蒸気孔に顔や手を近づけない。
やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないようにすること。

ふたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める。
倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

⚠注意

不安定な場所や、熱に弱い敷物の上では使用しない。
倒れたときに、お湯が流れ出て、やけどのおそれ。
また、火災の原因。

⚠警告

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない。
(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど)
火災・感電の原因。

ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差し込みプラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグ（磁石式）の先端にピンなど金属片やごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

ふたを勢いよく閉めない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

満水目盛以上の水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。ふたを持って移動しない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

ポットを転倒させない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火のおそれ。

蒸気孔をフキンなどでふさがない。
お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれ。

水以外のものをわかさない。
お茶・牛乳・酒・ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使用すると、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。また、こげつき・腐食・故障・フッ素加工のはがれの原因。

氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

1 安全上のご注意

⚠ 警告

ふたをつけたまま、残り湯をすてない。
ふたがはずれたとき、お湯がかかってやけどをするおそれ。
（残り湯のすてかたは、P.18の「使い終わったら」を参照）

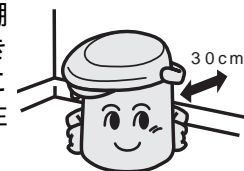
改造はしない。
修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

⚠ 注意

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因。
キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意すること。

この製品専用の電源コード以外は使用しない。電源コードを他の機器に転用しない。
故障・発火のおそれ。

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電や、ショートして発火するおそれ。

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。
やけどの原因。

ふたを開けるときに出る蒸気にふれない。
やけどの原因。

湯わかし中は、お湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因。

給湯中に本体を回さない。
お湯が飛び散り、やけどのおそれ。

本体を持ち運ぶときは、ふたの開閉レバーにふれない。
ふたが開いて、けがややけどをするおそれ。

お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。

お願い

●水のかかりやすい場所では使用しない。丸洗いはしない。底部はぬらさない。蛇口から直接水を入れない。
本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。

●タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

●熱に弱いテーブルなどの上に置かない。
テーブル、敷物などが変色、変形するおそれ。

●直射日光が長時間あたる場所では使用しない。
本体が熱くなるなど、故障の原因。

●蒸気孔をフキンなどでふさがない。
ふたの変形の原因。

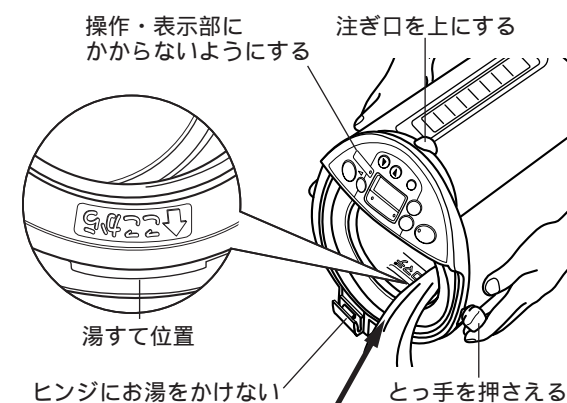
●火気の近くでは使用しない。
変形・故障の原因。

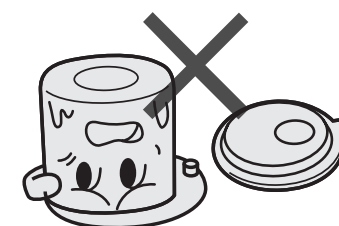
●カラだきをしない。
水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。

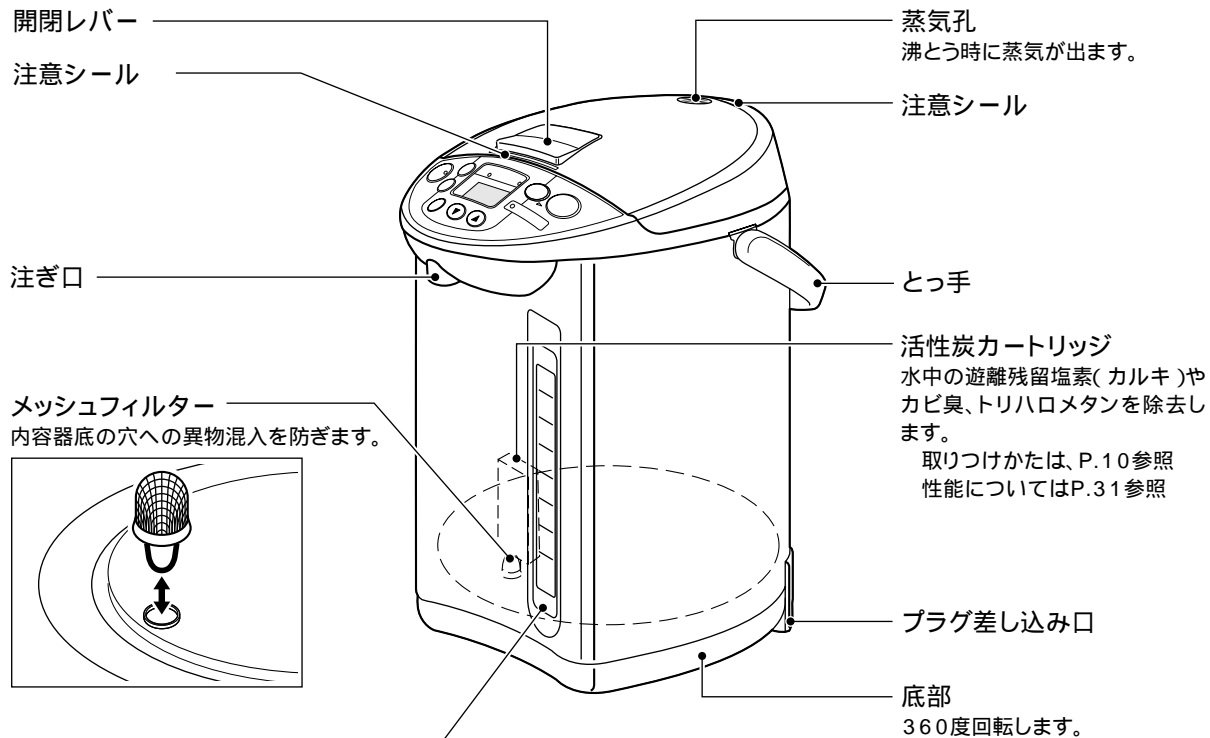
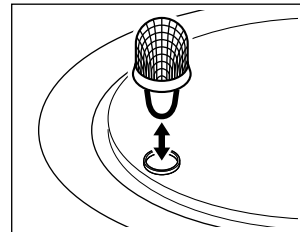
●備長炭などの炭を入れて使用しない。
故障、フッ素加工のはがれの原因。

末永くご使用いただくために、必ずお守りください。

●残り湯をすてるときは、必ず下図の方向からすてる。

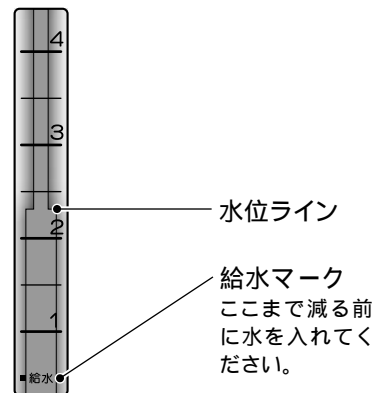
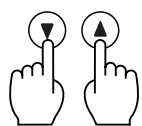
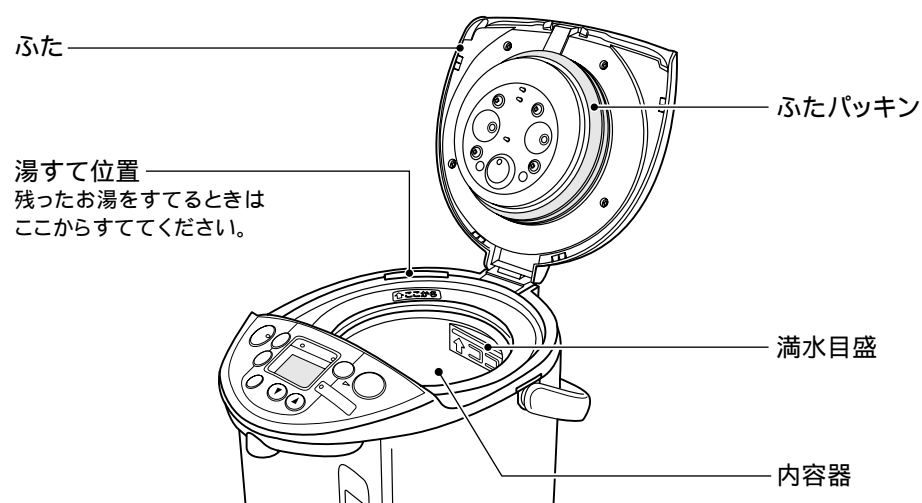
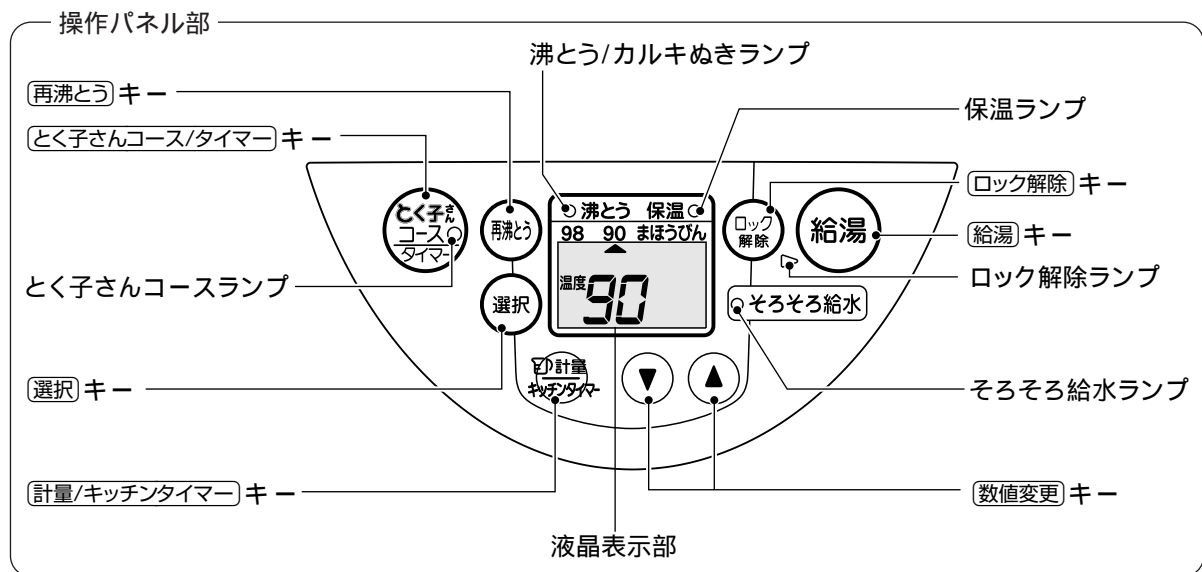
操作・表示部にかからないようにする
注ぎ口を上にする
湯すて位置
ヒンジにお湯をかけない
とっ手を押さえる
必ずこの位置からすてる

別の位置からすてると、本体内部にお湯が入って故障の原因。
またやけどのおそれ。

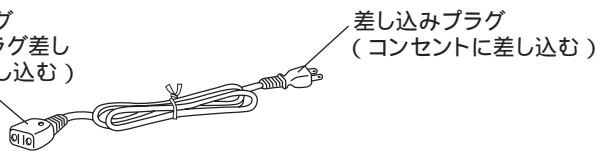
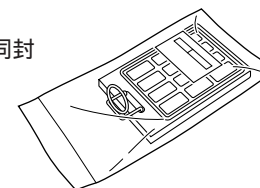
●本体をさかさにして置かない。

底部が水にぬれていると、底部から水が本体内に入り、故障の原因。水のかかりやすい場所や底部がぬれるようなところに置いて、使用しない。

2 各部のなまえとはたらき

ご注意 プラグ差し込み口も同時に回りますので、器具用プラグがはずれないように注意してください。

※注意シールは、安全に関する重要な内容を記載していますので、はがさないでください。

現在の湯量を示します。
ポットの動作状況に応じて点灯または、点滅します。

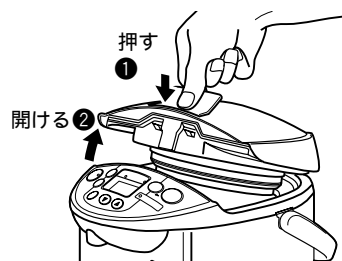
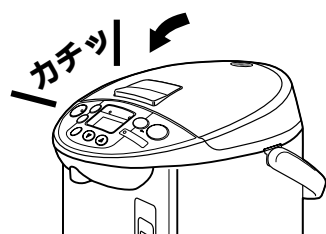
水量表示計の状態	ポットの動作・使用状況	参照ページ
点灯	プラグ接続から2分間（水からの湯わかし時）	12
	通常使用の保温時 ※まほうびん保温のときは通常の約1/2の光量	12・16
	とく子さんコース使用時の「使う時間帯」 ※通常の約1/2の光量	21
	とく子さんコース使用時の「使わない時間帯」での給湯時（計量カップ機能を含む）と給湯後2分間	21
点滅	沸とう終了の1分前（「そろそろ沸とう」をお知らせするとき）※カルキぬき選択時は2分前	12・19
	「そろそろ給水」をお知らせするとき	17
	とく子さんコース使用中に ロック解除 キーを押したとき	21
	キッチンタイマー終了時	24
	クエン酸洗浄中と終了時	26
	その他の異常検知時　※通常よりはやく点滅	28・29
消灯	水からの湯わかしでプラグを差し込んでから2分後	12
	再沸とう キーを押したとき	17
	保温時にカルキ抜き沸とうをしたとき	19
	節電タイマー作動中	23
	とく子さんコース使用時の「使わない時間帯」	21

〈水量表示計の常時消灯のしかた〉

数値変更 キーの ▼ と ▲ を同時に約3秒押し続けてください。状況に応じて点灯、点滅させるようにするときは、再度同時に押し続けてください。

〈操作パネル部〉

付属品の確認

〈電源コード〉

〈活性炭カートリッジ〉
「活性炭カートリッジ交換シール」同封

音について

湯わかし中の「ゴー」という音は、故障や異常ではありません。
湯わかし中に内容器内で発生する泡がはじける音です。

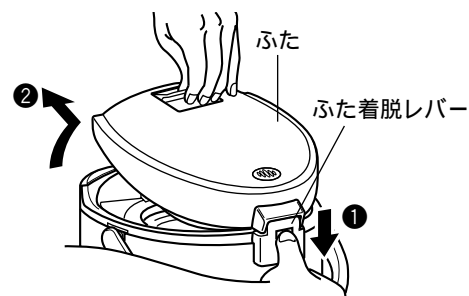
3 各部の使いかた

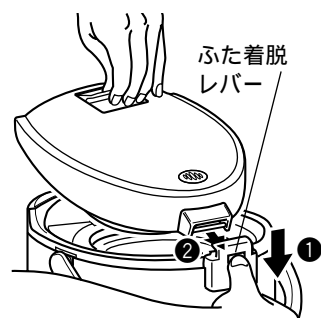
ふたの使いかた

■開けかた

■閉めかた

ご注意　ふたが確実に閉まっていないと、沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が多量に出て、やけどをするおそれがあります。

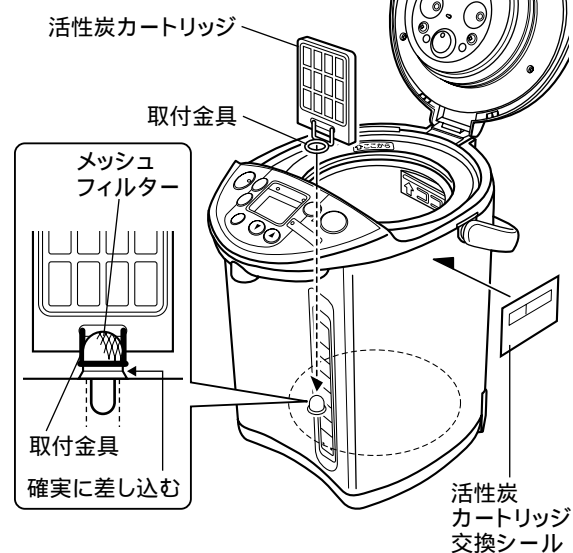
音　ふたを開閉するとき「カラ、カラ」と音がしますが、お湯の流出を防止する弁の音で異常ではありません。

■ふたのはずしかた

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたを注ぎ口側に引くように開けてはずします。

■ふたの取りつけかた

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたの引っかけ部を差し込みます。

活性炭カートリッジの取りつけかた

❶活性炭カートリッジを袋から取り出し、水洗いします。

❷取付金具をメッシュフィルターに確実に差し込みます。

「活性炭カートリッジ交換シール」に使用開始日を記入し、ポット本体の見やすいところに貼って交換時期の目安にしてください。

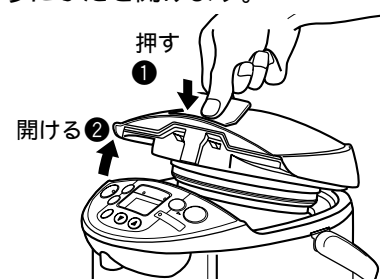
ご注意

- 活性炭カートリッジが内容器にあたらないように、取付金具をメッシュフィルターに確実に差し込んでください。無理に押し込んだり、斜めに差し込むとはずれたり、破損することがあります。
- はじめて使うとき、長期間使用していなかったときなど使用を再開するときは、活性炭カートリッジを水洗いしてください。（P.18参照）
- クエン酸、レモン汁、台所用合成洗剤などで洗わないでください。異臭の原因になります。これらで洗ってしまったときは、活性炭カートリッジを交換してください。（P.31参照）

4 お湯のわかしかた

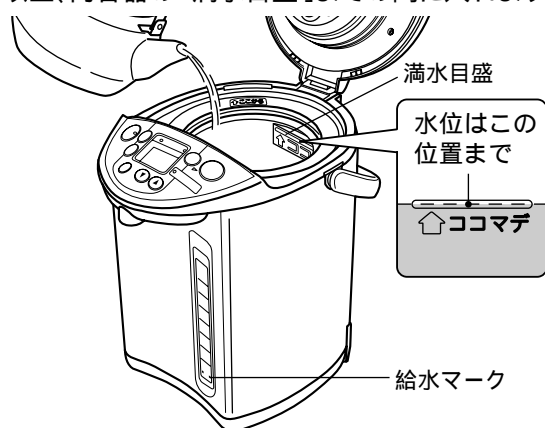
はじめてお使いになるときや長期間使用していなかったときは、活性炭カートリッジを水洗いしてから取りつけて、一度手順通りにお湯をわかしてください。
その後、給湯して残り湯をすててからお使いください。

1 ふたを開ける

図のようにふたを開けます。

音　ふたを開閉するとき「カラ、カラ」と音がしますが、お湯の流出を防止する弁の音で異常ではありません。

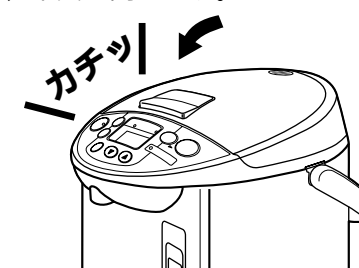
2 活性炭カートリッジが確実に取りつけられていることを確認する（P.10参照）

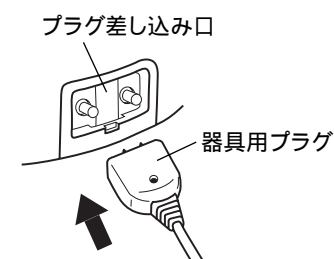
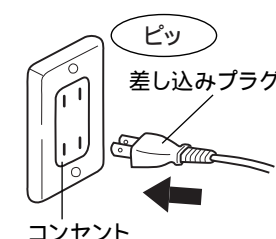
3 水を入れる

水を、やかんなどで水量表示計の「給水マーク」以上、内容器の「満水目盛」までの間に入れます。

ご注意

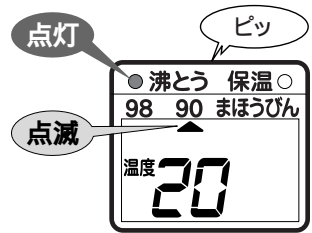
- 水道の蛇口から直接水を入れないでください。あふれるとショートや感電の原因になります。
- 水を操作・表示部にかけないでください。感電や故障の原因になります。
- 水が直接活性炭カートリッジに当たらないように入れてください。カートリッジがはずれることがあります。
- 「満水目盛」を超えて水を入れないでください。お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。
- 「給水マーク」より少ない水量で湯わかしをしないでください。カラだきによる内容器の変色、故障のおそれがあります。

4 ふたを閉める

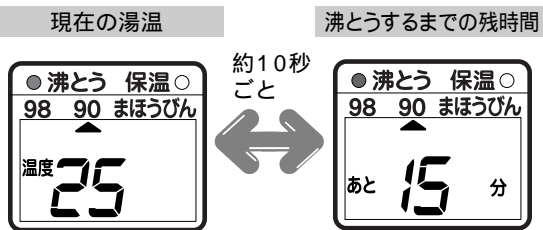
ふたを、確実に閉めます。

5 電源コードを接続する

❶器具用プラグを、本体に差し込みます。

❷差し込みプラグを、コンセントに差し込みます。

4 お湯のわかしかた

6 湯わかしがはじまる

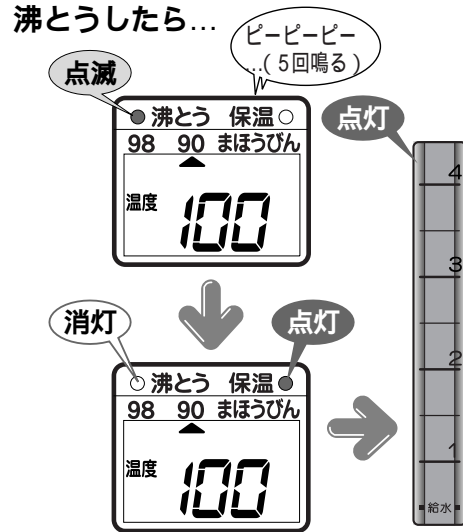
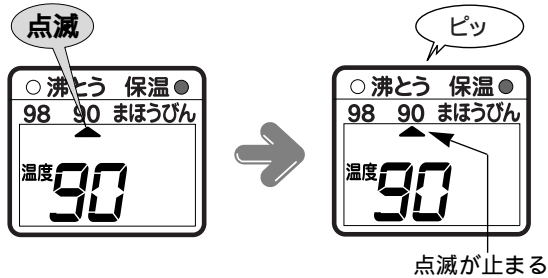
水量表示計は通電後2分間点灯し、その後消灯します。

※保温温度を選ぶときは、P.16参照。
（選ばない場合は、自動的に90保温になります。）
※カルキぬき沸とうをするときは、P.19参照。
※節電タイマーを設定するときは、P.23参照。

音　内容器に水が入っていなかったり、少量の水量でわかし始めると、「ピピピ…」と音がして、沸とう/カルキぬきランプ、水量表示計が点滅してお知らせし、ヒーターへの通電が止まります。（P.28参照）

■ 湯わかし中…

※水量や水温によって残時間が表示されはじめる時間が異なります。
※お湯の温度は、5℃きざみに表示されます。
（約98℃のときは、「98」を表示します。）

7 自動的に保温する

沸とうする1分前から水量表示計が点滅して「そろそろ沸とう」をお知らせします。

■ 沸とうしたら…

■ 湯温が約90℃になると…（90保温を選択しているとき）

ご注意
- 蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。
- 湯わかし中や直後は、ふたを勢いよく開閉したり、給湯しないでください。お湯が飛び散ったり、蒸気がふき出して、やけどをするおそれがあります。

沸とう時間と選択した保温温度になるまでの時間の目安

項目	時間
沸とうするまで（98保温）	約37分
沸とうしてから90保温になるまで	約2時間55分

※水量:満水、水温・室温:20℃、電圧:交流100Vのとき。
※沸とうすると同時に保温ランプが点灯します。

5 お湯の注ぎかた

1 ロック解除 キーを1回押す

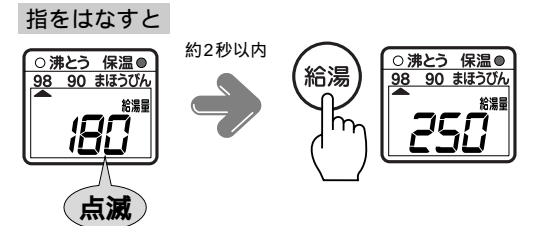
2 給湯 キーを押す

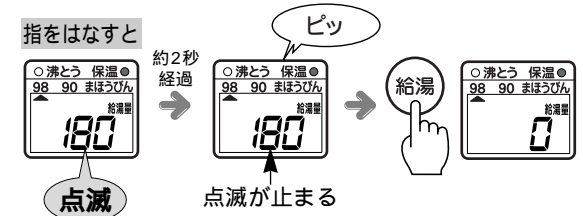
お湯を入れる容器を注ぎ口に合わせて 給湯 キーを押します。
押している間、注ぎ口からお湯が出ます。
※約10mLから約990mLまで10mLきざみで給湯量が表示されます。約990mLを超えると、「給湯量0」に戻って表示が進みます。

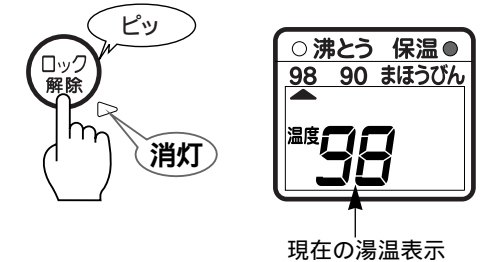
ご注意
- <u>給湯量は目安です。容器の湯量に注意しながら給湯してください。</u>
- 湯量が少ないときに給湯を行うと、お湯が飛び散ることがありますので、注意してください。
- 小刻みに 給湯 キーを押さないでください。お湯が飛び散ったり、故障の原因になります。
- プラグをはずすと、給湯できません。
- <u>沸とう直後に給湯を行うと、お湯が出にくくなることがありますが、蒸気に注意してふたを開けると直ります。</u>
- 沸とう直後や湯量が少ないときに給湯を行うと、右図のように表示される場合がありますが故障ではありません。（沸とう 保温 98 90 まほうびん 給湯量 --）
- 給湯後、約20秒間 給湯 キーを押さなかった場合、ロック解除ランプが消灯して自動的にロックされます。
- 内容器や内部のポンプが汚れていると、お湯が出にくくなることがありますので、クエン酸洗浄を行ってください。（P.26参照）

■ 給湯中に一時中断して、給湯 キーをはなした場合の作動について

〈給湯 キーをはなして約2秒以内に再度押すと…〉

先に注いだ給湯量に加算されて、給湯されます。

〈給湯 キーをはなして約2秒経過してから再度押すと…〉

先に注いだ給湯量が消えて、加算されずに「給湯量0」からはじまります。

3 ロック解除 キーを1回押す

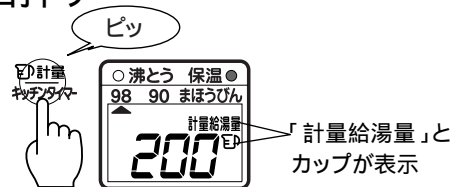
給湯 キーがロックされ、押しても給湯ができません。表示は現在の湯温表示に戻ります。

4 容器をはなす

注ぎ口からお湯が途切れるのを確認してから容器をはなしてください。

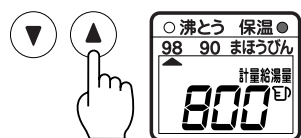
使いかた

計量カップ機能の使いかた

給湯前に設定した必要な量だけ給湯できます。お料理を作るときなどに便利です。給湯量は、約100mLから約990mLまで約10mL単位で設定できます。

1 計量/キッチンタイマー キーを1回押す

2 給湯量を設定する

数値変更 キーの ▽ △ を押して、給湯したい量を設定します。

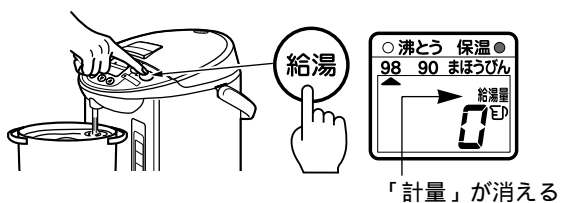
※給湯量の表示は、▽ △ を1回押すごとに10mLずつ、押し続けると100mLずつ切り替わります。

ご注意

- 計量カップ機能とキッチンタイマー機能は、操作キーを兼用していますので、操作時は液晶表示部の表示を確認しながら行ってください。
- 約20秒間 ▽ △ を押さなかった場合、計量カップ機能は解除されます。
- 湯わかし中、沸とう直後の約3分間は計量カップ機能が使えません。沸とう直後の約3分間に 計量/キッチンタイマー キーを押すと、計量給湯ができないことを表示します。

3 ロック解除 キーを1回押す

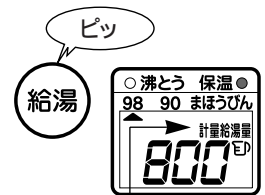
4 給湯 キーを押す

お湯を入れる容器を注ぎ口に合わせて 給湯 キーを押します。
給湯 キーを押している間、注ぎ口からお湯が出ます。

※10mL単位で給湯量が表示されます。

設定した給湯量になると

※ 給湯 キーを押し続けても、給湯は止まります。

指をはなすと

ご注意

- <u>給湯量は目安です。容器の湯量に注意しながら給湯してください。</u>
- プラグをはずすと、給湯できません。
- 給湯後、約20秒間 給湯 キーを押さなかった場合、計量給湯の設定は解除されます。

- 内容器や内部のポンプが汚れていると、お湯が出にくくなることがありますので、クエン酸洗浄を行ってください。(P.26参照)

ワンポイント：くり返し同じ量を給湯する場合は、給湯後約20秒以内に 給湯 キーを押すと、再度設定せずに同じ量を給湯できます。

■ 計量給湯中に一時中断して、給湯 キーをはなした場合の作動について

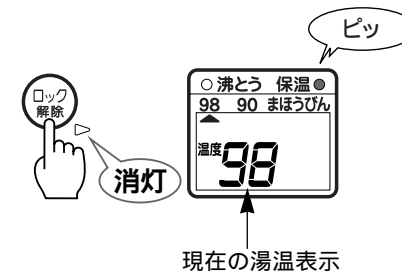
〈給湯 キーをはなして約5秒以内に再度押すと…〉

先に注いだ給湯量に加算されて、残りの量が給湯されます。

〈給湯 キーをはなして約5秒経過してから再度押すと…〉

先に注いだ給湯量が消えて、はじめに設定した計量給湯量の表示にもどり、加算されずに「給湯量0」からはじまります。

5 ロック解除 キーを1回押す

給湯 キーがロックされ、押しても給湯ができません。
また、計量カップ機能は解除されます。

6 容器をはなす

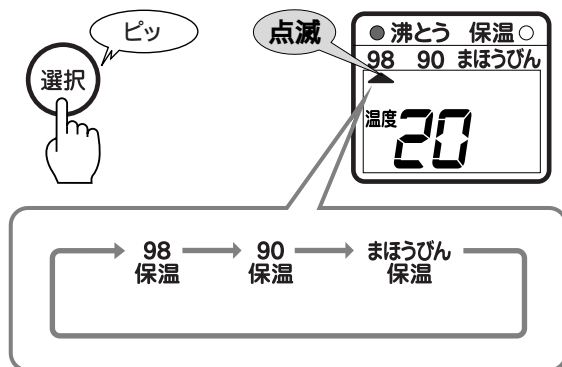
注ぎ口からお湯が途切れるのを確認してから容器をはなしてください。

6 保温温度の設定のしかた

お湯の保温温度は98保温（約98℃）、90保温（約90℃）、まほうびん保温の3種類から選択できます。

設定のしかた

湯わかし中や保温時に、選択キーを押します。押すごとに▲が順番に移動し、希望の保温温度で指をはなします。

※設定した保温温度になると、▲の点滅が止まります。

現在設定している温度より高い温度に切り替えた場合は、沸とうすることがあります。

設定中にプラグがはずれた場合、再度プラグを接続すると90保温になります。

「98保温」に設定した場合

沸とう後、お湯を約98℃で保温します。カップめんを作るときやコーヒー、紅茶、番茶などを入れるときに最適です。

「90保温」に設定した場合

沸とう後、お湯を約90℃で保温します。煎茶などを入れるときに最適です。98保温に比べて保温時の電気代が節約できます。

「まほうびん保温」に設定した場合

沸とう後、ヒーターへの通電を切り、内容器のまほうびん構造によってお湯を保温しますので、保温時の電気代が節約できます。

※プラグを抜いても、まほうびんによって保温できます。

ワンポイント

- 水量表示計は、他の場合と比べて約1/2の光量で点灯します。
- まほうびん保温中でも、プラグが接続されていれば、水をつぎ足すと湯温によって自動的に湯わかしを行います。
- 電動給湯などの機能は使えます。

■ 時間経過と湯温の目安

時間の経過とともに湯温は徐々に下がります。
下表を目安にしてください。

沸とう後の経過時間	湯温
2時間	約93℃以上
4時間	約87℃以上
6時間	約81℃以上

※水量：満水、室温：20℃のときの参考値。
※温度は5℃きざみで表示していますので、表示の温度と湯温は異なる場合があります。
※湯量が少ない状態でまほうびん保温にすると、さめやすくなります。

7 再沸とうのしかた

保温中のお湯を、再び沸とうさせることができます。

1 「給水マーク」以上のお湯が入っていることを確認する（P.11参照）

2 保温の状態で、再沸とうキーを1回押す

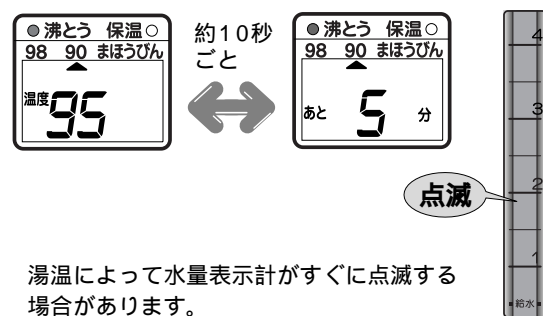
※水量表示計は消灯します。

このとき、再沸とうキーを2回押すと、カルキぬき沸とうになります。（P.19参照）

- 蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。
- 湯わかし中や直後は、ふたを開閉したり、給湯しないでください。お湯が飛び散ったり、蒸気がふき出して、やけどをするおそれがあります。

■ 湯わかし中…

現在の湯温　沸とうするまでの残時間　1分前

約10秒ごと

※湯温によって水量表示計がすぐに点滅する場合があります。

満水時に沸とうするまでの時間の目安

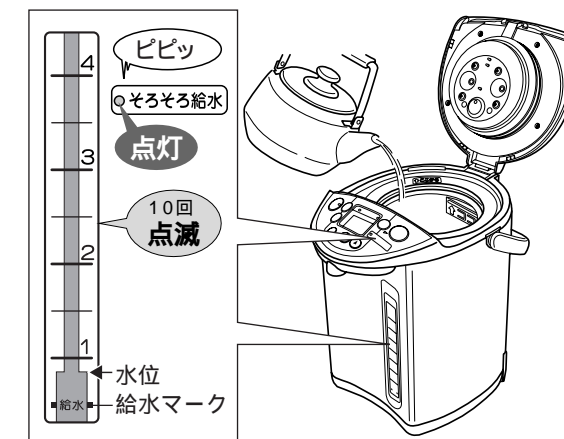
98保温のとき	約3分
90保温のとき	約6分

※時間は目安です。水を注ぎ足したり、プラグを接続し直したときは、さらに長くなります。
※まほうびん保温のときは、そのときの湯温によって沸とうするまでの時間が異なります。

8 給水のしかた

「そろそろ給水」について

お湯の残量が約1L以下になると、「ピピッ」と音がして給水をお知らせします。早めに給水（P.11参照）してください。

※使いかたによって「そろそろ給水」お知らせ時のお湯の残量は変わる場合があります。

「そろそろ給水」のお知らせがあった後もお湯は保温されていますので、そのままお使いいただけます。

給水マークまで湯量が減った場合

水量表示計の水位が給水マークに近づいてきた場合は、必ず給水（P.11参照）してください。

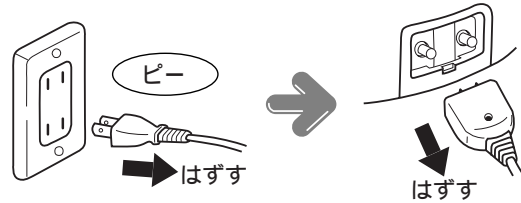
ご注意

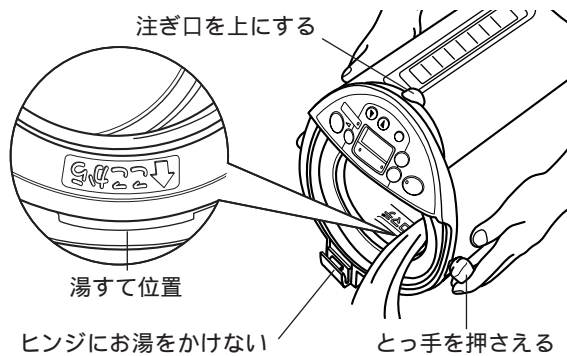
- お湯を入れると、自動的に湯わかしが開始されませんので、水を入れてください。
- ふたを開けるときは、蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。
- 水を入れずにそのまま放置しないでください。カラだきとなり、故障の原因になります。

使いかた

9 使い終わったら

1 プラグをはずす

すべてのランプが消灯します。

2 ふたをはずす（P.10参照）

3 残り湯をすてる

ご注意 勢いよくお湯をすてないでください。また、できるだけお湯をすてる場所にポットを近づけてすててください。お湯が飛び散ってやけどをするおそれがあります。

4 活性炭カートリッジを水洗いする

活性炭カートリッジを、メッシュフィルターから取りはずして水洗いします。

ご注意 カートリッジが充分にひえてから取りはずしてください。

5 ふたを取りつける（P.10参照）

ご注意
- 残り湯は放置しないでください。内容器の変色やにおいの原因になります。
- ふたをつけたままや注ぎ口を下にしたり、ヒンジ部からお湯をすてると、お湯が手にかかってやけどしたり、故障の原因になります。
- 活性炭カートリッジやメッシュフィルターの取りつけが不充分ですと、お湯をすてたときに抜け落ちることがありますので注意してください。

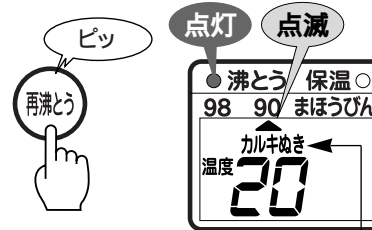
ワンポイント 活性炭カートリッジとメッシュフィルターは、こまめに水洗いすると目づまりが少なくなります。

10 カルキぬき沸とうのしかた

カルキぬき沸とう機能は、通常よりも湯わかしの時間を延長して、浄水効果を高め、お湯のカルキ臭、カビ臭、トリハロメタンを減らします。

ご注意 カルキぬき沸とうをするときは、給水マーク以上のお湯が入っていることを確認してから行ってください。

水からカルキぬき沸とうをする場合

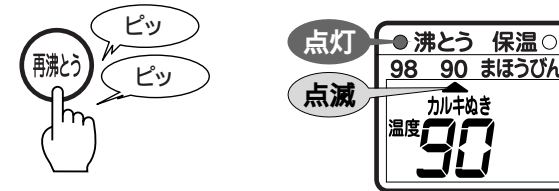
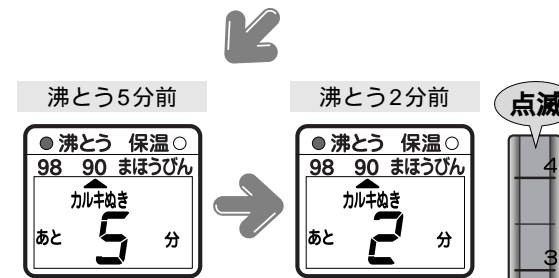
プラグ接続後、再沸とうキーを1回押します。
湯わかしが始まります。

※湯わかし中の液晶表示と水量表示計は、通常と同じです。（P.12参照）
※水量表示計が、沸とう終了2分前から点灯します。

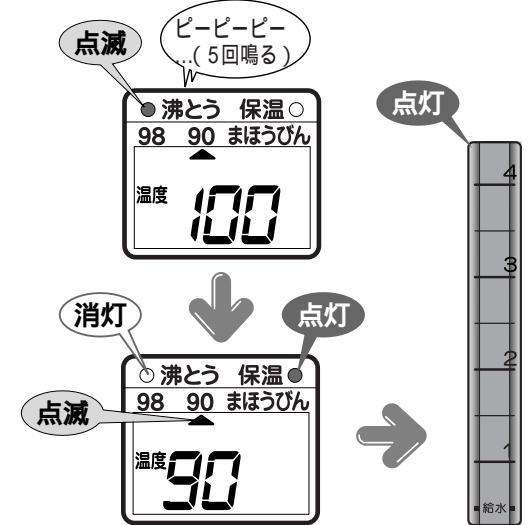
保温時にカルキぬき沸とうをする場合

再沸とうキーを2回押します。
湯わかしがはじまります。

※水量表示計は消灯します。

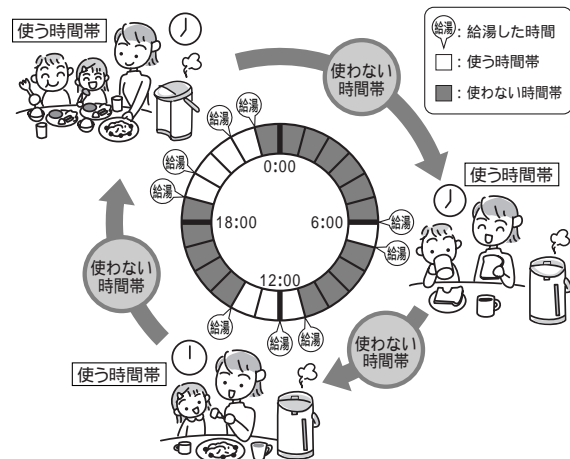
沸とう5分前

沸とう2分前

※湯温によって水量表示計がすぐに点滅する場合があります。

カルキぬき沸とうが終了したら…

ご注意
- 通常の湯わかしよりも蒸気の量が多くなりますので、ふれないように注意してください。
- 高度浄水処理水の場合は、カルキがぬけにくくなります。この場合は、再度カルキぬき沸とうを行ってください。

11 とく子さんコースの使いかた

とく子さんコースについて

ポットが毎日の給湯状況を記憶し、お湯を「使わない時間帯」には、ヒーターへの通電を自動オフしてまほうびん保温に切り替わり、「使う時間帯」だけお湯をわかして保温します。
毎日お湯を「使う時間帯」が決まっておられる方に便利で、効果的な省エネが行えます。

■「使う時間帯」とは

一度給湯して次に給湯するまでの間隔が3時間未満のことです。ただし、連続すると、加算されてすべて使う時間帯になります。

■「使わない時間帯」とは

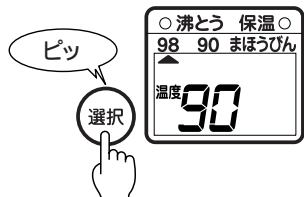
一度給湯して次に給湯するまでの間隔が3時間以上のことです。

ご注意 常時、または不定期にお湯を使うような場合や、休日などで使う時間帯が変わる場合は、「使わない時間帯」（通電が切れる時間帯）が少なくなり、効果的な省エネにつながりません。

お湯を使う時間帯が、毎日一定しているほど効果的な省エネができます!!

とく子さんコースのセットのしかた

1 保温温度を選択する

選択 キーを押して、「使う時間帯」の保温温度（98保温または90保温）を選択してください。

ご注意 まほうびん保温中にとく子さんコースをセットすると、「使う時間帯」になってもヒーターへの通電が切れますので、お湯は冷めていくだけです。

2 とく子さんコース/タイマー キーを1回押す

■通電開始と同時にとく子さんコースをセットすると

最初の24時間はポットが給湯状況を記憶しますのでとく子さんコースは働きません。24時間経過後から、「使った時間帯」にお湯をわかし、「使わない時間帯」はヒーターへの通電を切ります。

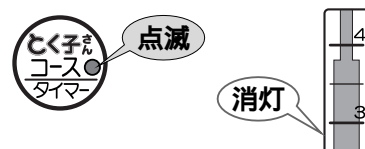
■通電開始24時間経過後にとく子さんコースをセットすると

それまでの給湯状況を記憶していますので、セットすると「使う時間帯」に選択した保温温度で保温し、「使わない時間帯」はヒーターへの通電を切ります。

※セットした時間が、「使う時間帯」の場合は、湯温が低ければ自動的に湯わかしをはじめます。
※セットした時間が、「使わない時間」の場合は、とく子さんコースランプが点滅して、まほうびん保温になります。

ワンポイント ポットは、通電開始から72時間（3日間）分の給湯状況を記憶します。72時間経過後（4日目から）は、最初の24時間のデータが消えて更新されていきます。

「使わない時間帯」になると…

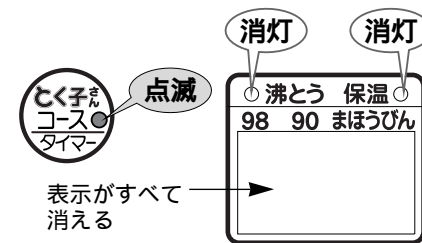
ヒーターへの通電を切ります。

水をつぎ足すと、自動的に湯わかしが始まります。

ご注意 「使わない時間帯」に給湯（計量カップ機能を含む）すると、記憶されますので、24時間経過後の省エネ効果が薄れることがあります。
給湯した場合は、以下のようになります。
❶ ロック/解除 キーを押すと、「ピー、ピー、ピー」と3回音が鳴り、水量表示計が同時に点滅します。
❷水量表示計が給湯中と給湯後の2分間だけ点灯します。
❸自動的に湯わかしが始まります。
❹沸とう後、約30分間保温し、ヒーターへの通電を切ります。
※30分以内に「使う時間帯」になると、そのまま設定した保温温度になります。

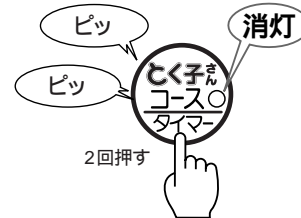
「使う時間帯」になると…

選択した保温温度で保温します。
※湯温が低ければ、「使う時間帯」の約40分前から自動的に湯わかしを始めます。

※「使わない時間帯」になっても、約30分間は設定した保温温度で保温します。
その後、「使わない時間帯」と判断して、ヒーターへの通電を切ります。

ご注意 とく子さんコースを選択してから3日間1度も給湯を行わなかった場合は、以下のようになり、とく子さんコースが解除されます。
❶4日目にとく子さんコースランプのみが点滅し、その他のランプは消灯、表示も消えます。

❷いずれかの操作キーを押すと、湯わかしが始まります。とく子さんコースが解除され、選択している保温温度で通常の保温を続けます。

とく子さんコースの解除のしかた

とく子さんコース/タイマー キーを2回押してください。

ご注意 とく子さんコース/タイマー キーを1回押すと節電タイマーの設定になりますので、液晶表示部で確認をしながら行ってください。

※このとき、湯温が低い場合は自動的に湯わかしをはじめます。
※水量表示計はとく子さんコースを解除したときの湯温や状況によって点灯、点滅または消灯します。

教えて とく子さん® とく子さんコースを上手に使うためのアドバイス

Q. 給湯状況の記憶が消えることはないの？

A. プラグがはずれて約10分以上経過すると、消えます。
プラグを接続すると、新たに給湯状況を記憶しはじめます。

Q. ポットには時計が内蔵されているの？

A. 時計機能は内蔵されていません。通電開始からの経過時間で時間や日数を計算しています。

Q. まほうびん保温中にとく子さんコースをセットするとどうなるの？

A. 常時ヒーターへの通電が切れることになりますので、「使う時間帯」になっても湯わかし・保温は行われず、お湯は冷めていくだけです。

Q. 「使わない時間帯」に給湯すると、どうなるの？

A. ポットが記憶しますので、省エネ効果が薄れることがあります。
※ポットの動作については、P.21「使わない時間帯になると…」のご注意を参照してください。

Q. 毎日のお湯を使う時間が不特定な場合、とく子さんコースをセットするとどうなるの？

A. 「使わない時間帯」が少なくなるために、省エネ効果は薄れます。

Q. ひんぱんにお湯を使っていますが、とく子さんコースをセットするとどうなるの？

A. 「使わない時間帯」が少なくなるために、省エネ効果は薄れます。

Q. とく子さんコースを使用中にお湯をわかしても大丈夫？

A. ポットが記憶するのは、給湯※だけですので、とく子さんコースには影響ありません。
※計量カップ機能も含みます。

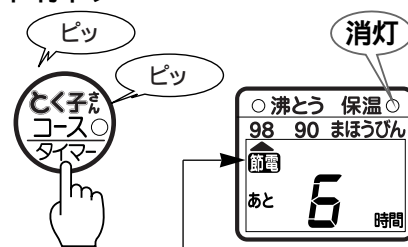
Q. 普段は使わない夜中にお湯を使ったらどうなるの？

A. 次の日から3日間はその時間にお湯をわかします。

12 節電タイマーの使いかた

**節電タイマーは、1時間単位で3時間後から12時間後まで設定できます。
必要な時間に合わせてお湯をわかしますので、お休みになるときや外出時は電気代を節約できます。**

節電タイマーのセットのしかた

1 とく子さんコース/タイマー キーを2回押す

2 時間を設定する

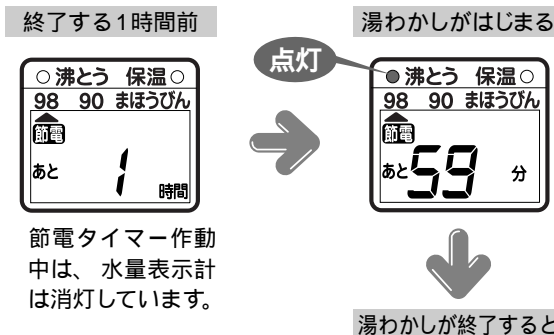
数値変更 キーの ▼ ▲ を押して、あと何時間後にお湯が必要かを設定します。

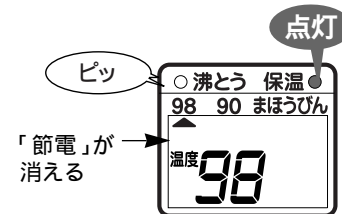
※ ▼ ▲ を押すごとに、表示が1時間ずつ変わります。ただし、押し続けても表示は変わりません。
※「あと3時間」から「あと12時間」まで1時間単位で設定できます。
※節電タイマーが終了するまでの残時間を1時間単位で表示します。

■ 設定時間の1時間前になると…

湯わかしがはじまり、残り時間を1分単位で表示します。

終了する1時間前

湯わかしがはじまる

※節電タイマー作動中は、水量表示計は消灯しています。

湯わかしが終了すると

※沸とう後は、節電タイマー設定前に選択していた保温温度で保温されます。

ご注意 節電タイマーをセットすると以下の操作・機能は働きません。
- 給湯できません。
- 設定中のとく子さんコース（P.20参照）は解除されます。
- キッチンタイマーは使えません。作動中のキッチンタイマーは解除されます。

節電タイマーを解除して、湯わかしをするとき

1 とく子さんコース/タイマー キーを1回押す

2 お湯をわかす

再沸とう キーを押します。

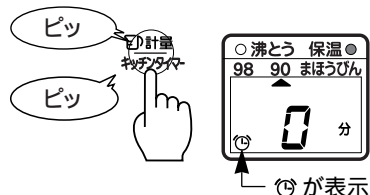
※沸とう/カルキぬきランプが点灯していることを確認してください。

使いかた

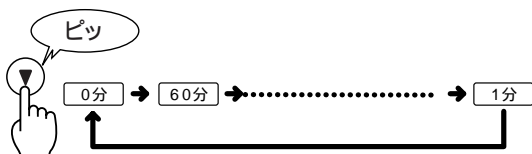
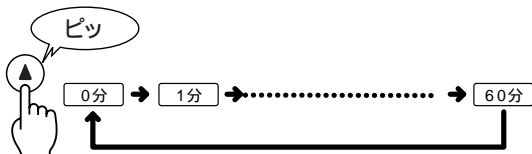
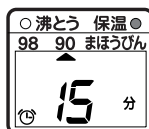
13 キッチンタイマーの使いかた

1分から60分まで1分単位で設定できるキッチンタイマー機能は、お料理などでお使いになると、便利です。

キッチンタイマーのセットのしかた

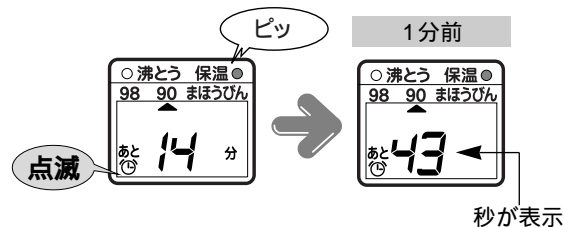
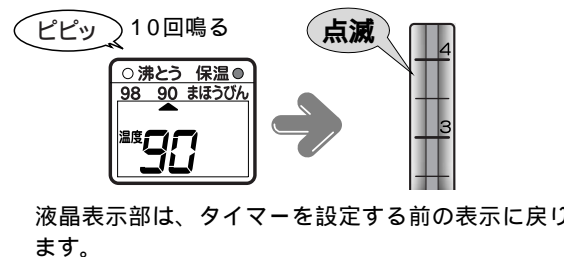
1 計量/キッチンタイマー キーを2回押す

2 時間を設定する

数値変更 キーの ▼ ▲ を押して、設定する時間に合わせます。

※ ▼ ▲ を押すごとに、表示が1分ずつ切り替わります。
※押し続けると、10分ずつ切り替わります。

ご注意 キッチンタイマーは、節電タイマー作動中は使用できません。

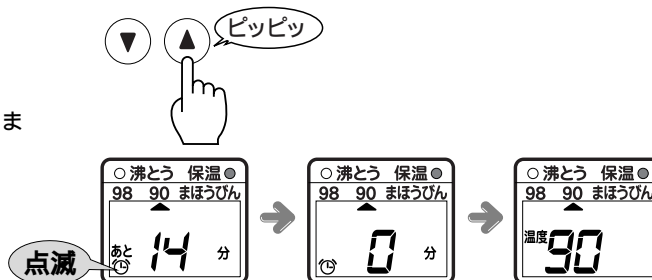
■ タイマーが開始されると…

キッチンタイマーが終了するまでの残時間を1分前までは1分ごとにカウントダウン表示し、1分前になると60から0まで1秒ごとにカウントダウン表示します。

■ 設定した時間になると…

※液晶表示部は、タイマーを設定する前の表示に戻ります。

ご注意 キッチンタイマーの作動中に節電タイマーを選択すると、キッチンタイマーは解除されます。

キッチンタイマーの解除のしかた

数値変更 キーのどちらか一方を押す

液晶表示部に「あと何分」と表示されているときに ▼、または ▲ を押します。キッチンタイマーが解除され、液晶表示部は設定する前の表示に戻ります。

14 お手入れのしかた

⚠注意 プラグをはずし、残り湯をすてて、本体が冷えてからお手入れする。

ご注意
- 水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。
- 丸洗いは絶対にしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
- 洗剤・シンナー・クレンザー・金属たわし・化学ぞうきん・ナイロンたわし・漂白剤などは使わないでください。
- 食器洗い乾燥機、食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。変形の原因になります。

各部	お手入れのしかた
内容器 	**■ 内容器の色むらや変色、水中の白い浮遊物について** 内容器にできるサビのような赤いはん点、乳白色・黒色・虹色などの変色、白い浮遊物は、水に含まれるミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）の作用によるものです。内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、こまめにお手入れしてください。 **❶通常は活性炭カートリッジとメッシュフィルターをはずしてからスポンジで洗う。** ご注意 ●クレンザーやたわし類を使わないでください。フッ素加工面が傷み、汚れが落ちにくくなります。 ●フッ素加工をしていても長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなったり、湯わかし中の音が大きくなったりしますので、こまめにお手入れしてください。 ●カラだきによる変色はとれません。 ●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を湯わかしした場合は、内容器にカルシウム分が付着しやすくなったり、また付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐ場合があります。故障の原因にもなりますのでよりこまめにお手入れしてください。 **❷スポンジで洗っても落ちにくい汚れは、クエン酸（別売）で洗浄（2〜3ヶ月に1回）する。（P.26参照）** ※クエン酸は当社の「電気ポット内容器洗浄用クエン酸」（品番:PKS-0120）をお使いください。
ふた 本体外側 	**よくしぼったふきんで汚れをふき取る。**
活性炭カートリッジ	**スポンジで洗う。（お手入れのつど洗うと、カートリッジの目づまりが少なくなります。）** ご注意 クエン酸、レモン、洗剤、漂白剤、クレンザーは使わないでください。
メッシュフィルター 	**内容器からはずしてブラシなどでこまめに洗う。** ご注意 目づまりするとお湯が出にくくなります。洗った後は、必ず内容器に取りつけてください。

14 お手入れのしかた

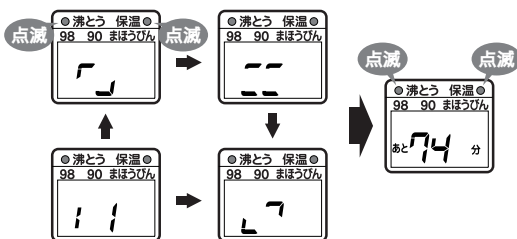
クエン酸洗浄のしかた

ご注意 下記の内容を必ず守ってください。泡立ってお湯がふきこぼれたり、やけどのおそれがあります。
- ●お湯は入れないでください。必ず水から洗浄を行ってください。
- ●満水目盛以上の水を入れないでください。
- ●洗浄中は、ふたを開けないでください。

※クエン酸での洗浄中は、他の操作や機能は使えません。

❶活性炭カートリッジをはずす。
❷内容器にメッシュフィルターがセットされていることを確認する。
❸クエン酸約30g（大さじ2～3杯）を内容器に入れる。
❹満水目盛まで水を入れて混ぜ合わせ、ふたを閉める。（P.11参照）
❺プラグを差し込み、［選択］キーと［再沸とう］キーを同時に約3秒間押し続ける。

洗浄が開始されます。洗浄中は沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが点滅、液晶表示が下図のように移動して知らせます。その後洗浄の残時間の表示に切り替わります。水量表示計は点滅し続けます。

〈洗浄時間は約1時間40分以内〉

ご注意 クエン酸洗浄中は、沸とうしますので蒸気にご注意ください。

❻洗浄が終わると「ピー、ピー…」と音が10回鳴り、沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが点灯します。液晶表示は下図のようになります。水量表示計はそのまま点滅し続けます。

❼［ロック解除］キーを押してから［給湯］キーを押してお湯を出し切ってすてる。汚れが残っている場合はスポンジでこすり落とし、水で充分すすぐ。
※汚れが落ちにくい場合は、水ですすいだ後、再度クエン酸と水を入れて同じ操作を行ってください。

❽クエン酸のにおいを取るため、水だけで再度通常通りにわかしてお湯をすてる。

クエン酸は、お求めのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→P.31参照）で、品番：PKS-0120「電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）」とご指定のうえ、お問い合せください。
※内容器洗浄用クエン酸は食品添加物につき、食品衛生上無害です。

長期間ご使用にならないときは

❶P.25の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。
❷各部を自然乾燥させる。（特に内容器、活性炭カートリッジは充分に乾燥させてください。）
❸ポリ袋などで密封して保管する。（活性炭カートリッジは内容器から取りはずして保管してください。）

ご注意 保管するときは、ポリ袋などで密封してゴキブリなどが入らないようにしてください。

15 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

水量表示計については、P.29を参照してください。

⚠警告 修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

こんなときは ▶	ここを確認して ▶	こう処置してください	参照ページ
お湯がわかない。すべてのランプと、水量表示計がつかない。	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。水量表示計は状況に応じて消灯します。	11
「ピー」と音がして、表示部のランプや液晶、水量表示計がすべて消えた。	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	11
沸とう/カルキぬきランプに切り替わらない。	約80℃以上のお湯を入れていませんか。	水を入れてください。	17
		［再沸とう］キーを押して沸とうさせてください。	17
	まほうびん保温の設定（通電状態）にしていませんか。	［再沸とう］キーを押して沸とうさせてください。	16・17
お湯がぬるい。	まほうびん保温の設定にしていませんか。	まほうびん保温の設定は、時間の経過とともに湯温が徐々に下がります。	16
	とく子さんコースを選択していませんか。	過去3日間の給湯時間帯を参考にして未使用時間帯と判断したときはヒーターへの通電を切ってまほうびん保温の状態になっています。［再沸とう］キーを押して沸とうさせてください。	17・20~22
	1杯目のお湯は水量表示計の水量管の中に入っているため、ぬるくなる場合があります。		—
お湯がさめやすい。（まほうびん保温時）	湯量が少なくありませんか。	湯量が少ない状態でまほうびん保温にすると、さめやすくなります。	16
お湯が自然に出る。	水を「満水目盛」超えて入れていませんか。	「満水目盛」以内にしてください。	11
お湯が出ない、出にくい。	本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにしてください。傾けた状態で給湯するとお湯が出ない場合があります。	—
	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	11
	自動ロックになっていませんか。	［ロック解除］キーを1回押してください。ロック解除ランプが点灯して、給湯ができます。	13~15
	計量カップ機能を使っていませんか。	設定した量のお湯が出終わると［給湯］キーを押し続けていても給湯がとまります。	14・15
	沸とう直後ではありませんか。	沸とう直後に給湯しますと、お湯が出にくくなることがあります。蒸気に注意して、一度ふたを開けてください。	13
	内容器やメッシュフィルター、内部のポンプが汚れているとお湯が出にくくなることがあります。	内容器をクエン酸洗浄してください。	26
	カラだきになりませんでしたか。	カラだきすると給湯できないようにロックされる場合があります。この場合は水を「給水」マーク以上まで入れてから［とく子さんコース/タイマー］キーと［選択］キーを同時に3秒以上押すと給湯ができるようになります。	—

15 故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
表示部がくもる。	水をすて、通電せずにくもりがなくなるまで放置してください。		－
お湯がにおう。	ご使用当初は、樹脂などのにおいがすることがあります。ご使用とともに少なくなります。		－
	水道水に含まれるカルキ（消毒用塩素）のにおいではありませんか。	「カルキぬき」でお湯をわかしてください。	19
	ビニールシートなどの敷物の上で使用していませんか。	ビニールシートなどの敷物の上で使用すると、お湯に敷物のにおいが移ることがあります。	－
カルキ・カビ臭がする。	活性炭カートリッジの目づまり、また交換の時期になっていませんか。	活性炭カートリッジを洗う。または交換してください。	10・31
勝手にお湯がわきはじめる。	とく子さんコースを選択していませんか。	とく子さんコースでの「使う時間帯」になると、自動的にお湯をわかしはじめます。	20~22
いつもと違った時間にお湯がわきはじめる。（とく子さんコース選択時）	休日などで使う時間が変わると、その時間を記憶してデータを更新していきます。そのため、わきはじめる時間が変わります。		20~22
内容器が汚れている。お湯に白い浮遊物が浮く。	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。	内容器をクエン酸で洗浄してください。	26
湯わかし中に「ゴー」という音がする。	湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。		9
	内容器が汚れていませんか。（内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。）	内容器をクエン酸で洗浄してください。	26
本体外側が熱い。	室温の高い部屋で保温を続けると、本体外側が熱くなることがあります。異常ではありません。		－
給湯中に下図のように表示される。 ○沸とう 保温● 98 90 まほうびん 給湯量 --	お湯がなくなっていませんか。	水を入れて湯わかしをしてください。	13・17
	沸とう直後ではありませんか。	蒸気に注意して、一度ふたを開けて閉めしばらくしてから再度給湯してください。	13・17
	内容器やメッシュフィルター、内部のポンプが汚れていると、正しく表示されない場合があります。	クエン酸洗浄をしてから、給湯キーを押してお湯を出しきってすてる。	26
警告音とともに沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが交互に点滅して、下図のように表示される。同時に水量表示計が点滅する。 点滅 沸とう 保温 98 90 まほうびん F2 点滅 点滅 沸とう 保温 98 90 まほうびん C4 点滅	カラまたはごく少量の水量で湯わかししていませんか。	プラグを抜き、水を「給水」マーク以上まで入れて、しばらくしてからプラグを差し込んでください。	11・12
	お湯を使いきったまま長時間放置したり、給水するためにふたを開けたままで放置していませんか。		11~17
警告音とともに沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが交互に点滅して、下図のように表示される。同時に水量表示計が点滅する。 点滅 沸とう 保温 98 90 まほうびん C1 点滅	本体が故障している場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。		－

※樹脂成形品の一部に線状および波状の箇所が見える場合がありますが、これはウエルドラインおよびフローマーク（樹脂成形時に発生する線状および波状の跡）で、ご使用上の品質に支障はありません。

水量表示計について

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
水量表示計が点灯しない。	湯わかし中ではありませんか。	湯わかし終了の1分前（カルキぬきの湯わかしなら終了の2分前）まで水量表示計は消灯しています。	8・12
	とく子さんコースを選択していませんか。	とく子さんコースでの「使わない時間帯」は、水量表示計は消灯しています。	8・20~22
	節電タイマーをセットしていませんか。	節電タイマーの作動中は、水量表示計は消灯しています。	8・23
	水量表示計を常時消灯するように操作していませんか。	数値変更キーの▽と△を同時に約3秒間押し続けてください。	8
水量表示計の点灯が通常よりも暗い。	通常での使用で保温選択をまほうびん保温にしていませんか。	まほうびん保温時は通常の約1/2の光量で点灯します。	8・16
	とく子さんコースを選択していませんか。	とく子さんコースでの「使う時間帯」は水量表示計は通常の約1/2の光量で点灯します。	8・21
水量表示計が点滅する。	お湯の量が約1L以下になっていませんか。	「そろそろ給水」のお知らせです。水を入れてください。	8・17
	沸とう終了1分前およびカルキぬき終了2分前から点滅をはじめます。		8・12・19
	とく子さんコース使用中にロック解除キーを押しませんでしたか。		8・21
	キッチンタイマー終了時は点滅してお知らせします。		8・24
	クエン酸洗浄中は点滅してお知らせします。		8・26

仕様

項目		値
定格容量		5.0L
電源		交流100V　50-60Hz
湯わかし時の消費電力		905W
年間消費電力量*		366kWh/年
1日当りの消費電力量*		1.00kWh/日
外形寸法（約）（とっ手を倒した状態）	幅	23.8cm
	奥　行	29.0cm
	高　さ	35.3cm
質量（約）（電源コードを含む）		3.8kg
温度過昇防止装置（温度ヒューズ）		152℃
コードの長さ（約）		1.2m
電動ポンプの消費電力（約）		1.5W

* JEMA（日本電機工業会）自主基準による測定（室温23℃、湯わかし2回／1日、再沸とう1回／1日、保温90℃で23時間／1日、365日／年間、その他水量等の試験条件：JEMA自主基準HD-112に基づく）

※特定地域（高山（こうざん）・厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はお避けください。

困ったときは

その他

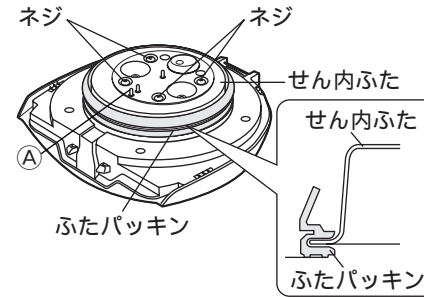
消耗部品について

ふたパッキンおよびその他のパッキン類は消耗部品です。水質や使いかたにより異なりますが、ご使用にともない傷んできます。汚れや破損がひどくなったり、ふたのすき間から蒸気がもれだしたら、新しいふたパッキンと交換（有償）してください。

ふたパッキンのはずしかた

❶4本のネジをゆるめる。

ご注意 ネジはゆるめるだけでせん内ふたをふたからはずさないでください。完全にはずすとその他の部品がはずれるなどをして蒸気もれやお湯が出ない原因になります。

❷ふたパッキンをはずす。

ふたパッキンのつけかた

❶せん内ふた外周に、ふたパッキンを図の通りにきっちりと均等にはめ込む。

❷最後にネジを確実に締めつける。

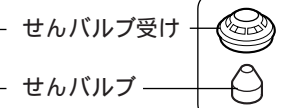
ふたパッキンは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→P.31参照）で、部品番号：PVB1042とご指定の上、お問い合せください。

※ふたパッキンを交換しても不具合のときは、その他のパッキン類、成形品などが傷んでいる場合があります。内部のパッキン類、成形品の傷み具合はせん内ふたをはずさなくても上図のⒶの突起部が外観から見て傷んできたときがその交換の目安になります。お問い合せの上、ご相談ください。

ネジ（4本）
せん内ふた
ふたパッキン
せん本体パッキン
せんバルブ受け
せんバルブ
せん本体
せんパッキン
上ぶた

樹脂成形品について

※熱や蒸気にふれる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

必ずこのイラストの通りの方向でセットする。（間違うとお湯がふきこぼれ、やけどをするおそれ）

メッシュフィルター

内容器のクエン酸洗浄時に取りつけて洗浄しても汚れが取れない場合は交換してください。交換用のメッシュフィルターは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→P.31参照）で「タイガー電気ポット用交換用メッシュフィルター」部品番号：PVF1045とご指定の上、お問い合せください。

引っぱるとはずれます。取りつけは確実にまっすぐに差し込みます。

活性炭カートリッジ

●1日に約6Lのお湯を使用したとして、約1年を目安に交換してください。（水質や使いかたにより異なります。）

※付属の「活性炭カートリッジ交換シール」に使用開始日を記入し、ポット本体の見やすいところに貼ってお取り替えの目安にしてください。

●交換用の活性炭カートリッジは、メッシュフィルターとセットになって販売しています。お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口、（連絡先→下記参照）で「タイガー電気ポット用交換用活性炭カートリッジ（メッシュフィルターつき）」品番:PVG-J100とご指定の上、お問い合せください。

活性炭カートリッジ使用限界	約1年※（1日に約6Lのお湯を使用した場合） ※水質や使いかたにより異なります。
除去できる成分・能力	遊離残留塩素（カルキ）、カビ臭、トリハロメタンを約90%※除去。 ※一般的な水道水（COD値：約3ppm）の場合 ●高度浄水処理水の場合には、除去能力が低下します。

保証とサービスについて

※ 修理を依頼される前にまず「故障かな?と思ったら」（P.27～29）をご覧になり、お調べください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。（消耗部品は除きます。）

保証書の記載内容に基づき、お買い上げの販売店が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内……おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき……まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名　②品番　③製品の状況（できるだけくわしく）

4 電気ポットの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料……不具合の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業（修理および部品交換・調整・修理後の点検など）の料金です。

部品代……製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（下記）までご相談ください。

●本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社　本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）　市内通話料でOK　**0570-011101** 市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます）
※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ TEL（06）6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス　http://www.tiger.jp/